

栃木県わがまち未来創造事業計画書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	宇都宮市
-----	------

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
1	フェスタmy宇都宮	総事業費			6,269,530	6,247,289		12,516,819
		うち市町支出額			4,750,000	4,750,000		9,500,000
		うち県交付金			1,000,000	1,000,000		2,000,000
2	ミヤ・ジャズイン事業	総事業費				6,454,504	3,484,249	9,938,753
		うち市町支出額				1,000,000	1,000,000	2,000,000
		うち県交付金				500,000	500,000	1,000,000
3	100年続く”好きですかわち”事業	総事業費					534,900	534,900
		うち市町支出額					400,000	400,000
		うち県交付金					200,000	200,000
4	富屋地区の魅力再発見・発信事業	総事業費					661,320	661,320
		うち市町支出額					500,000	500,000
		うち県交付金					250,000	250,000
5	心豊かに暮らせるまち推進事業	総事業費					864,098	864,098
		うち市町支出額					500,000	500,000
		うち県交付金					250,000	250,000
6	未来につなげよう～「歩いて訪ねて新発見」ウォーキング大会	総事業費					357,770	357,770
		うち市町支出額					250,000	250,000
		うち県交付金					125,000	125,000
7	ふるさと宮まつり事業	総事業費					5,997,958	5,997,958
		うち市町支出額					2,102,000	2,102,000
		うち県交付金					1,051,000	1,051,000
8	うつのみや花火大会事業	総事業費					11,243,834	11,243,834
		うち市町支出額					1,500,000	1,500,000
		うち県交付金					750,000	750,000
9	うつのみや食育フェア実行委員会交付金事業	総事業費	7,235,273	6,946,726	7,600,514	6,575,685		28,358,198
		うち市町支出額	6,347,000	6,075,000	6,619,540	5,755,000		24,796,540
		うち県交付金	0	0	1,000,000	1,000,000		2,000,000
10	宮っこフェスタ2020	総事業費	3,735,351	3,710,436	3,710,631	3,673,021	4,831,447	19,660,886
		うち市町支出額	2,527,000	2,527,000	2,527,000	2,527,000	3,420,000	13,528,000
		うち県交付金	0	0	0	1,263,500	1,710,000	2,973,500
市町計		総事業費	10,970,624	10,657,162	17,580,675	16,495,995	27,975,576	90,134,536
		うち市町支出額	8,874,000	8,602,000	13,896,540	13,032,000	9,672,000	55,076,540
		うち県交付金	0	0	2,000,000	3,263,500	4,836,000	10,599,500

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	ミヤ・ジャズイン事業
事業主体の名称	ミヤ・ジャズイン実行委員会
代表者の名称	ミヤ・ジャズイン実行委員会 委員長 長谷川 正
事業主体の所在	宇都宮市中央3-1-4 (宇都宮商工会議所内)
事業主体の概要	<p>・団体の目的:ミヤ・ジャズインの開催を通じ、観光誘客や消費の拡大等による地域の活性化及び地域産業の振興を図るもの</p> <p>・設立年月日:2005年</p> <p>・構成員等:宇都宮商工会議所, オリオン通り曲師町商業, 宇都宮オリオン通り商店街, 宇都宮餃子会, 宇都宮観光コンベンション協会, 宇都宮市ほか</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載</p> <p>・開催場所の中心となる中心市街地は、電車やバスなどが行きかう交通結節点の要衝であるとともに、オフィスビルや商店街が立ち並ぶなど、本市を代表とする地域となっている。また、将来的にはLRTの通行により賑わいと高次な都市機能を備えたまちづくりに向け様々な事業を展開している。</p> <p>・商業施設の事業所数や従業者数が減少傾向にある一方で、オリオン通りにおいては週末や夜間の通行量は増加傾向にある。</p> <p>・今後、人口減少に直面することが予想される中、都市機能の集積や居住の誘導、魅力の向上など多様な主体による経済の活性化が求められている。</p>
事業目的	<p>事業の目的を簡潔に記載</p> <p>本市の地域資源であるジャズを活用した集客交流事業を行うことにより、中心市街地への集客、県外から観光誘客などによる消費の拡大など、地域の活性化・地方創生の実現を図る。</p>
事業概要	<p>当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載</p> <p>・当該年度の実施内容</p> <p>日 程:令和2年10月31日(土), 11月1日(日)</p> <p>11時~19時(会場によって異なる)</p> <p>予定会場:オリオンスクエア、オリオン通り曲師町イベント広場</p> <p>内 容:ア 宇都宮市及び近県からのアマチュアバンド参加による演奏</p> <p>イ 地元で活躍するミュージシャンによる特別ジャズ・セッション</p> <p>・翌年度以降の取組等</p> <p>本市の地域資源であるジャズに関するイベントを通じて、中心市街地への集客、消費拡大、観光誘客の促進を図るため「ミヤ・ジャズイン」を開催する。また、「ジャズのまち宇都宮」の認知度向上やブランド力の進化のため、「ミヤ・ジャズイン」を継続的に開催していくことで、ジャズを中心とした軽音楽文化の振興を図り、ジャズを活用した中心市街地の活性化や観光誘客を促進していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本施策:個性豊かな観光と交流を創出する</p> <p>指標:年間の観光入込客数</p> <p>KPI:2016年 1,483万人 ⇒ 目標 2022年 1,550万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	元年度	2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	ミヤ・ジャズイン事業	ミヤ・ジャズイン事業		ミヤ・ジャズイン事業
事業費	6,454,504	3,484,249	9,938,753	6,500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000
うち県交付金	500,000	500,000	1,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	
その他自主財源等	5,454,504	2,484,249	7,938,753	5,500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光交流課 観光企画G	
担当者名	大岩	
連絡先	電話	028-632-2437
	FAX	028-632-520
	E-mail	kanko@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ミヤ・ジャズイン事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部 (単位:円)

科目	予算額 (精算額)	備考
負担金	578,500	参加負担金
補助金	1,500,000	宇都宮市, 商工会議所
寄附金	1,192,250	企業協賛
繰越金	213,499	前年度からの繰越金
雑入	0	
計	3,484,249	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	48,000			48,000	ゲスト, MCIほか
委託料	1,621,624	1,000,000	500,000	621,624	会場設営, 音響, 照明, 警備等
広告料	559,076			559,076	チラシ, ポスター, のぼり
賃借料	302,034			302,034	ピアノレンタルなど
消耗品費	575,140			575,140	事務費など
予備費	277,968			277,968	
繰越金	100,407			100,407	
				0	
				0	
				0	
計	3,484,249	1,000,000	500,000	2,484,249	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	100年続く”好きです かわち”事業
事業主体の名称	河内地区まちづくり協議会
代表者の名称	会長 永井 寛
事業主体の所在	宇都宮市中岡本町3221番地4(河内地区市民センター内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:郷土故郷を地域ぐるみで育み、地域の活性化を具体的に進めていくための総合的なまちづくり組織 ・設立年月日:平成21年1月22日 ・構成員等:連合自治会, 単位自治会(51), 社協, 民児協, 青少年育成協, 体協, 魅力ある学校づくり地域協議会 等
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・河内地区では、地域コミュニティの希薄化や地域への関心の低下などにより、まちづくりの担い手の不足・固定化など、地域まちづくりに大きな影響を及ぼす課題が顕在化してきている。 ・一方、地区には、宇都宮市立地適正化計画における居住誘導区域が含まれることから、今後、新住民が大幅に増加していくことが想定される。 ・このような中、持続的な地域活性化を図るため、新住民の転入を好機と捉え、新住民や若者世代を取り込んだ地域まちづくりに取り組む必要がある。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の価値・魅力を広くPRし、新・旧住民や世代を問わず多くの地元住民の”かわち”ファンを創出する。 ・”かわちファン”からステップアップさせ、地域まちづくり活動に参画するキャスト(担い手)を育成・発掘する。 ・地域の求心力となるシンボルマークを地域総意のもと制作し、地区住民全員の一体感の創出を図る。 ・他に誇れる地域資源を活用し、地区内外の交流人口の拡充を図る。
事業概要	<p>【令和2年度】</p> <p>目的:「かわちファンの創出」「地域まちづくり活動におけるキャストの育成・発掘」「地区内外交流の促進」</p> <p>事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> →河内地区「観光・文化財パンフレット」を作成した。 →河内地区「ガイドマップ」を作成した。 →河内地区ホームページにおいて「観光・文化財パンフレット」を発信した。 <p>目的:「地区住民の一体感の創出」</p> <p>事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> →河内地区のシンボルマーク(地区旗も含む)を作成した。 →様々な広報物・イベント等においてPRした。 <p>【令和3年度以降】</p> <p>継続的に上記事業を実施するほか、「観光・文化財パンフレット」を活用したイベントの開催(特に若者世代が主体となった若者世代をターゲットにしたイベント等)等、地区内外からの多くの参加者を募るイベントを開催する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】働く場や魅力の創出などによる東京圏等からの流入人口・関係人口の拡大を図る。</p> <p>【KPI】協働によるまちづくりの推進 まちづくり活動応援事業登録者数 現状値193人(H30)⇒目標値17,000人(R4)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	2年度	3年度	4年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「観光・文化財パンフレット」「ガイドマップ」を作成した。 ・シンボルマーク(地区旗)を作成した。 ・講座等参加者からのまちづくり担い手の発掘 ・地区ホームページにより「観光・文化財パンフレット」をPRした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「観光・文化財パンフレット」等を活用した講座・イベント等の開催 ・講座等参加者からのまちづくり担い手の発掘 ・シンボルマークの周知 ・地区ホームページにより「観光・文化財パンフレット」のPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・「観光・文化財パンフレット」等を活用した講座・イベント等の開催 ・講座等参加者からのまちづくり担い手の発掘 ・シンボルマークの周知 ・地区ホームページにより「観光・文化財パンフレット」のPR 		<ul style="list-style-type: none"> ・「観光・文化財パンフレット」等を活用した講座・イベント等の開催 ・講座等参加者からのまちづくり担い手の発掘 ・シンボルマークの周知 ・地区ホームページにより「観光・文化財パンフレット」のPR
事業費	534,900	50,000	50,000	634,900	50,000
市町支出金(ソフト事業分)	400,000	0	0	400,000	0
うち県交付金	200,000	0	0	200,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	134,900	50,000	50,000	234,900	50,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	宇都宮市河内地区市民センター
担当者名	鈴木 克典
連絡先	電話 028(671)3202
	FAX 028(671)3220
	E-mail u2227@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	100年続く”好きです かわち”事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	400,000	
地元負担金	134,900	
計	534,900	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	30,000	20,000	10,000	10,000	
印刷製本費	504,900	380,000	190,000	124,900	観光・文化財パンフレット @160×2,500部×1.1 会旗印刷 @29,500×2枚×1.1
備品購入費	0	0	0	0	
計	534,900	400,000	200,000	134,900	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。
 具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	富屋の魅力再発見・発信事業
事業主体の名称	富屋地区まちづくり連絡協議会
代表者の名称	会長 舘野 常利
事業主体の所在	宇都宮市徳次郎町80番地2 富屋地区市民センター内
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:富屋地区内の各種団体及び関係機関の連絡調整を図り、必要な活動を通してまちづくりに寄与する。 ・設立年月日:平成15年6月29日 ・構成員等:連合自治会、単位自治会(13)、社会福祉協議会、体育協会、青少年育成会、婦人会、老人クラブ連絡協議会、交通安全推進協議会・交通安全協会富屋支部、防犯協会、民生委員児童委員協議会、食生活改善推進員協議会、健康づくり推進連絡協議会、小中学校、地区市民センター等
当該事業に係る地域の現状と課題	豊かな自然と美しい田園風景や多くの史跡・文化財が現存し、古くからの宿場町としての歴史を持つ富屋地区では、これらの地域資源を生かしたまちづくりを進めており、平成27年2月には将来の目標や重点課題、具体的取組を定めた富屋地区地域ビジョンを策定し、地域一丸となって取り組んできたが、近年、急激な人口の減少と高齢化が進行しており、コミュニティの維持及び地域の活性化が急務となっている。
事業目的	これらの豊かな地域資源である歴史・文化について、地域内外に発信することにより、地域内においては地域のルーツや富屋の魅力を再認識し、地域への関心や愛着を醸成するとともに、地域外にも富屋の魅力を知らせ、来訪者を増やすことにより、定住人口・交流人口の増加及び地域の活性化を図る。
事業概要	<p>【令和2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富屋地区の史跡や歴史、文化財などを解説する案内板を設置し、地域住民に地域のルーツや富屋の魅力を再認識してもらうとともに地区を訪れる来訪者にも富屋の魅力を知らせよう。 ・これらの史跡・文化財等を巡るウォーキングコースの設定及びウォーキングマップを作成し、地域内外に富屋の魅力を発信した。 ・史跡・文化財案内板やウォーキングコース・マップを活用し、地域住民を対象としたガイド養成講座・地域学講座や小学生を対象とした「少年ふるさと教室」を開催し、地域への関心や愛着を高め、その魅力を内外に発信できる人材を育成した。 ・徳次郎町の読み方が、古くから親しまれ、歴史的背景を持つ「とくじら」に66年ぶりに復活することを記念するとともに、富屋の3つの歴史文化資源が市民遺産に認定されたことから、「記念講演会」を開催し、富屋の歴史や魅力を学ぶとともに地域内外に発信した。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】働く場や魅力の創出などによる東京圏等からの流入人口・関係人口の拡大を図る。</p> <p>【KPI】地域産業を支える地域人材の育成や、未来を生き抜く力を育成する教育など、幅広い分野での「人づくり」を進める。</p> <p>まちづくり活動応援事業登録者数 現状値193人(H30)⇒17,000人(R4)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和2年度	年度	年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・富屋の史跡・文化財案内板の設置 ・「ウォーキングマップ」の作成 ・「記念講演会」の開催 				
事業費	661,320			661,320	
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000			500,000	
うち県交付金	250,000			250,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	161,320	0	0	161,320	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	富屋地区市民センター	
担当者名	齋藤 宏之	
連絡先	電話	028-665-1663
	FAX	028-665-7226
	E-mail	u2221@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	富屋地区の魅力再発見・発信事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	500,000	
地元負担金	161,320	
計	661,320	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
委託料	401,720	400,000	200,000	1,720	案内板製作12基
印刷製本費	118,800	100,000	50,000	18,800	ウォーキングマップ印刷製本 2,000部
備品費	140,800	0		140,800	プロジェクター
計	661,320	500,000	250,000	161,320	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	心豊かに暮らせるまち推進事業
事業主体の名称	宝木地区まちづくり協議会
代表者の名称	会長 大金勇夫
事業主体の所在	宇都宮市駒生町3364-29 宝木地域コミュニティセンター内
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 宝木地区の住民、学校・各種団体が連携協力し、地域の課題解決に取り組むとともに地域の交流を促進して地域力の向上を図り、もって、豊かで安心・安全で住んでよかったと思えるまちづくりを推進することを目的とする。</p> <p>・設立年月日: 平成15年4月1日</p> <p>・構成員等: 宝木地区内において地域活動している諸団体</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>宇都宮市西部に位置する宝木の地は、西には東北道、中央を宇都宮外環状線が開通し、住民の足となる公共交通機関も宇都宮駅を発着とし他路線バスが地域内を縦横に走り、さらに商業施設、医療・福祉施設もあり、住環境の良い地域である。このため農地から住宅地への転用により戸建て住宅開発、賃貸集合住宅の建立などが今なお続いている。このような中、少子高齢化は一人暮らしや老々世帯の増加が確実に進みさらに、転入者の自治会未加入などが増えつつあり、喫緊の課題として心豊かに暮らせるまちづくりのため、住民への情報提供と、防災・防犯活動の活性化、地域交流活動の機会の創造、緑の多い自然環境の推進に取り組む必要がある。</p>
事業目的	<p>地域情報の発信と地域交流活動創設による地域住民の交流活動の活性化により安全で心豊かに暮らせるまちづくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信による地域住民共生地域を目指す ・安全安心なまちづくり再生 ・住民の交流機会の創設 ・地域ぐるみで、花の多い環境を推進する
事業概要	<p>心豊かに暮らせまち推進事業の骨格</p> <p><情報発信による地域住民の共生を図る></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区広報誌のみである地域への情報発信を、若年層をはじめ、多くの住民等が地域活動に理解を得ることができる機会を増設し、地域内外に発信するために、地域のホームページを創設した。 <p><安全安心なまちづくりを再生する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宝木地区は大きな河川がなく比較的 안전한地域と言われていたが、10,19台風では新川が越水し住民に不安を抱かせた。これを解消するため地区防災計画を策定し、これにもとづき防災研修会を開催して、災害時の備えに万全を期した。 <p><地域ぐるみで、花の多い環境を推進する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民が地域に誇りと愛着を持てるよう、心に潤いを与えるため、花いっぱい運動を推進した。具体的には、木製のプランターカバーにビジョンで決定した地区のロゴマーク等を刻字し、パンジーの苗と腐葉土を配布し、花々で地域の活性化を図るとともに、来訪者をおもてなしの心で迎えた。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】人口の定着と東京圏からの流入人口の増加を図る</p> <p>【KPI】地域産業を支える地域人材の育成や、本市の持つ労働供給力の充実など、幅広い分野での「人づくり」を進める</p> <p>自治会加入世帯数 147,810世帯(H27.4現在)⇒148,810世帯(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	2年度	3年度	4年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ホームページの作成と運用 ・花いっぱい運動の推進 ・防災計画の作成と研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ホームページの運用 ・地区文化祭の開催・運営 ・花いっぱい運動の推進 ・カレンダーの作成と行事情報の提供 ・防災計画に基づく訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ホームページの運用 ・地区文化祭の開催・運営 ・花いっぱい運動の推進 ・カレンダーの作成と行事情報の提供 ・防災計画に基づく訓練 		
事業費	864,098	50,000	50,000	964,098	
市町支出金(ソフト事業分)	500,000			500,000	
うち県交付金	250,000			250,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	364,098	50,000	50,000	464,098	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	宇都宮市みんなでまちづくり課北市民活動センター
担当者名	高賀茂 薫
電話	028-621-7745
FAX	028-622-7093
E-mail	u47090004@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支決算(精算)書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	心豊かに暮らせるまち推進事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	500,000	
地元負担金	364,098	
計	864,098	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費				0	
消耗品費	513,165	220,000	110,000	293,165	花苗, 培養土, 木製フラワーボックス, プランター
印刷製本費	121,880	100,000	50,000	21,880	「防災」計画冊子・防災マップ作成
通信運搬費				0	
委託料	229,053	180,000	90,000	49,053	ホームページ制作
食糧費				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	864,098	500,000	250,000	364,098	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	未来につなげよう～「歩いて訪ねて新発見」ウォーキング大会
事業主体の名称	細谷・上戸祭地域まちづくり協議会「未来につなげよう～プロジェクト」実行委員会
代表者の名称	会長 大谷 和夫
事業主体の所在	宇都宮市細谷1-4-38(細谷・上戸祭地域コミュニティセンター内)
事業主体の概要	<p>・団体の目的:細谷・上戸祭地域が持つ様々な資源や特色、地域に潜在する地域住民のやる気や熱意を活かし「細谷・上戸祭地域の魅力や個性の発信」「賑わいの創出による交流人口及び流入人口の増加」等、地域住民の創意工夫に溢れる活動を実践することを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成15年4月1日</p> <p>・構成員等:細谷・上戸祭地区の各自治会やまちづくり組織及び関係機関・団体と学識経験者・公募委員をもって構成する。</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>細谷・上戸祭両小学校の通学区域には、約17,000人の方が居住されていて、幼・保・小・中学校から高校・大学、特別支援学校もあり、史跡や遺跡が数多く点在し、いまだ緑が豊かで、暮らしに欠かせない診療所や商店・スーパーマーケット・コンビニ・郵便局・銀行・路線バスなども充実して利便性に優れた暮らしやすいまちとなっています。しかしながら、私たちの住む、この細谷地域を「10年後、20年・30年後」も「暮らしやすいまち」「住みやすいまち」「住んでいてよかったまち」「これからもずっと住み続けたいまち」であり続けるためには…。選ばれるまちに向けて「細谷地域の魅力を内外に発信して多くの地域内外の人々との交流を深め「交流人口・流入人口」の増加を積極的かつ継続的に図ることが課題である。</p>
事業目的	<p>上記の課題解決のために次の事業を展開するものである。</p> <p>・選ばれるまちに向けて「細谷・上戸祭地域の魅力」を内外に発信 ・地域内の「文化財や遺跡・史跡」の環境保護保全活動</p> <p>・交流人口及び流入人口の増加を図る ・農業生産者の意欲向上 ・咲かせよう～地域内全体をひとつの花壇にしよう運動の実施</p> <p>・地域コミュニティを醸成 ・地域の魅力を再発見できるウォーキングマップを作成して地域の賑わいづくり</p>
事業概要	<p>【イベント】</p> <p>事業名:細谷・上戸祭地域「未来につなげよう～歩いて訪ねて新発見」ウォーキング大会</p> <p>日時:令和2年11月8日(日)08:00～14:00*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>集合場所:宇都宮市立細谷小学校校庭・体育館</p> <p>主催:細谷・上戸祭地域「未来につなげよう～プロジェクト」実行委員会</p> <p>内容:地域内の史跡や遺跡を「歩いて訪ねて新発見」するウォーキングコースマップを作成することができた。地域内の名所・旧跡表示板や案内板を製作し、ウォーキングポイントとなる場所に案内板を設置するため、細谷・上戸祭地区まちづくり協議会や各自治会、関係機関などが連携し、草刈作業を通じて、交流を図ることができた。地区のホームページ・ブログにおいて、ウォーキングコースマップ等を掲載し、地域の魅力として発信した。</p> <p>【2021年度以降】</p> <p>・細谷・上戸祭地域、未来につなげよう～「歩いて訪ねて新発見」ウォーキング大会の成果を検証し、集客につながる地域の魅力をPRするための方法の検討を行っていく。</p> <p>・地域の参加を積極的に推進し、ブースの増設などイベントの規模の拡大を図ることで新たな来場者を確保する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】人口の定着と東京都からの流入人口の増加を図る</p> <p>【KPI】地域産業を支える地域人材の育成や、本市の持つ労働供給力の充実など、幅広い分野での「人づくりを進める。</p> <p>自治会加入世帯数 147,810世帯(H27.4現在)⇒148,810世帯(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	・地域内の史跡・遺跡を「歩いて訪ねて新発見」するウォーキングコースマップを作成する。 ・地域内の名所・旧跡の表示板や案内板を製作し、ウォーキングのポイントとなる場所に設置する。	・地域内の史跡・遺跡を「歩いて訪ねて新発見」するウォーキングマップを活用した事業を展開する。 ・地区のHPやブログを活用して、地域内の史跡や遺跡の魅力を発信する。	・地域内の史跡・遺跡を「歩いて訪ねて新発見」するウォーキングマップを活用した事業を展開する。 ・地区のHPやブログを活用して、地域内の史跡や遺跡の魅力を発信する。		・地域内の史跡・遺跡を「歩いて訪ねて新発見」するウォーキングマップを活用した事業を展開する。 ・地区のHPやブログを活用して、地域の史跡や遺跡の魅力を発信する。
事業費	357,770	200,000	200,000	757,770	200,000
市町支出金(ソフト事業分)	250,000	0	0	250,000	0
うち県交付金	125,000	0	0	125,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	0
うち県交付金				0	
その他自主財源等	107,770	200,000	200,000	600,000	200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	北市民活動センター
担当者名	大栗
電話	028-622-7093
FAX	028-622-7093
E-mail	u47090004@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	未来につなげよう～「歩いて訪ねて新発見」するウォーキング大会	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	250,000	
地元負担金	107,770	
計	357,770	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	0	0	0	0	
消耗品費	323,900	250,000	125,000	73,900	戸祭大塚古墳、大ジノ古墳群への 名所・旧跡表示板、案内板
食糧費	12,630	0	0	12,630	現地刈払い作業時の飲み物
印刷製本費	0	0	0	0	
通信運搬費	0	0	0	0	
委託料	0	0	0	0	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	0	
保険料	21,240			21,240	現地、刈払作業時の傷害保険料
				0	
計	357,770	250,000	125,000	107,770	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	ふるさと宮まつり事業
事業主体の名称	ふるさと宮まつり開催委員会
代表者の名称	会長 藤井 昌一
事業主体の所在	宇都宮市中央3-1-4 (宇都宮観光コンベンション協会内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:ふるさと宮まつりの開催を通じ、観光誘客や消費の拡大等による地域の活性化を図るもの ・設立年月日:昭和51年 ・構成員等:宇都宮観光コンベンション協会、宇都宮商工会議所、宇都宮自治会連合会、宇都宮青年会議所、宇都宮市ほか
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初開催予定場所の中心となる中心市街地は、電車やバスなどが行きかう交通結節点の要衝であるとともに、オフィスビルや商店街が立ち並ぶなど、本市を代表とする地域となっている。また、将来的にはLRTの通行により賑わいと高次な都市機能を備えたまちづくりに向け様々な事業を展開している。 ・商業施設の事業所数や従業者数が減少傾向にある一方で、オリオン通りにおいては週末や夜間の通行量は増加傾向にある。 ・なお、今年度については新型コロナウイルスの影響により、代替事業として“おうちで”宮まつりを開催することから、これらを通して本市の魅力の発信に取り組んでいく。
事業目的	<p>事業の目的を簡潔に記載</p> <p>市内外への事業の発信や多くの観光客が参加できるようなメニューを取り入れることで、広く本市の知名度向上や観光振興につなげる。</p>
事業概要	<p>当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載</p> <p>【令和2年度】 日時(予定):令和2年8月1日(土)から8月15日(土)まで</p> <p>(1) “おうちで”参加する宮まつり 【企画1】“おうちで”楽しめるグッズの提供 親子で一緒に作りながら楽しんでいただけるよう、折紙やペーパークラフトのダウンロード用データ(型紙)を公式ホームページに掲載した。</p> <p>【企画2】“おうちで”参加できるオンライン宮まつり ① “おうちで”一緒に踊り、楽しんでいただけるよう、宮まつりの「催事演目」である「おどり(宇都宮餃子音頭)」と「ダンス(ギョギョギョギョーザ)」の模範演技を公式ホームページに掲載した。 ② 子どもから大人まで誰でも気軽に参加できる場として「SNS」を活用し、宮まつりに対する「応援コメント」を投稿いただいた。 (例)ペーパークラフト完成品の紹介や親子一緒にの応援コメントなど</p> <p>【企画3】オンライン宮まつり“ワッショイ大賞” 「ふるさと宮まつり」をより身近に感じていただけるよう、上記【企画2】で投稿された「おどり」や「ダンス」、「応援コメント」のうち、多くの反響があった投稿者に対し“ワッショイ大賞”を授与した。 ・ 選考方法 ふるさと宮まつりポスターコンクールに準じた選考を実施 ・ 表彰 宮まつり公式ホームページで発表・表彰 ・ その他 入賞者に対する副賞を別途用意予定</p> <p>(2) “おうちで”観る宮まつり 自宅にいながら「ふるさと宮まつり」の歴史や醍醐味を知り味わうことができるテレビ番組を制作・放送した。 ・ 放送日時 令和2年8月15日(土) 午後7時から午後8時まで ・ 番組内容 宮まつりの歴史や親子で楽しめる演目照会の二部構成</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本施策:個性豊かな観光と交流を創出する 指標:年間の観光入込客数 KPI:2016年 1,483万人 ⇒ 目標 2022年 1,550万人 【参考】 2019年間入込客数 14,768,400人 2019宮まつり来場数 550,000人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	年度	元年度	2年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容			ふるさと宮まつり事業		ふるさと宮まつり事業
事業費			5,997,958	5,997,958	26,223,000
市町支出金(ソフト事業分)			2,102,000	2,102,000	11,100,000
うち県交付金			1,051,000	1,051,000	
市町支出金(ハード事業分)		0	0	0	
うち県交付金		0	0	0	
その他自主財源等	0	0	3,895,958	3,895,958	15,123,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光交流課 観光企画G
担当者名	大岩
電話	028-632-2437
FAX	028-632-5420
E-mail	kanko@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ふるさと宮まつり事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

(単位:円)

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	2,102,000	
繰越金	629,948	前年度からの繰越金
雑収入	3,266,010	協賛金, 預金利子等
計	5,997,958	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	127,808			127,808	事務用消耗品
印刷製本費	33,000			33,000	協賛金振込依頼書印刷代
通信運搬費	160,000			160,000	郵送料等
委託料	4,237,565	2,102,000	1,051,000	2,135,565	番組制作代, ペーパークラフト型紙代等
繰越金	1,439,585			1,439,585	
計	5,997,958	2,102,000	1,051,000	3,895,958	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	うつのみや花火大会事業
事業主体の名称	NPO法人うつのみや百年花火
代表者の名称	理事長 亀井 光一郎
事業主体の所在	宇都宮市戸祭町813
事業主体の概要	<p>・団体の目的:うつのみや花火大会の開催を通じ、宇都宮市の魅力の発信と併せ、交流人口の増加による地域経済の活性化を図る。</p> <p>・設立年月日:2007年</p> <p>・構成員等:市民</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載</p> <p>・開催場所の清原地区・平石地区は、美しい自然と豊富な農資源を有するとともに、2022年にはLRTが開通するなど、人々が集う地域として多くのポテンシャルを備えた地域である。</p> <p>・毎年、開催される花火大会には、県内外から約10万人もの人々が訪れ、本市の魅力を堪能していただいている。これらの資源を100年先まで続けられるよう、関係団体と連携を図りながら事業を進めていく必要がある。</p>
事業目的	<p>事業の目的を簡潔に記載</p> <p>うつのみや花火大会の開催を通じ、宇都宮市の魅力の発信、将来を担う子供達への夢と希望と感動の提供、更には交流人口の増加や関係人口の創出による地域経済の活性化を図る。</p>
事業概要	<p>当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載</p> <p>【令和2年度】</p> <p>新型コロナウイルス感染症のため、従来実施してきた事業は中止とし、代替事業を実施した。</p> <p>日 時:8月1日(土)~9月30日(水)</p> <p>場 所:参加者自宅、ろまんちっく村、市役所1階市民ホール</p> <p>主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おうちで花火3万人でチャレンジ(参加者自宅) ・花火の絵展覧会(ろまんちっく村) ・歴代ポスター展示(市役所1階市民ホール) ・各種媒体を活用した情報発信 ・地域住民や関係団体と連携した事業の推進 <p>昨年度からの変更点</p> <p>東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、日程を9月のシルバーウィークに変更するなど、より多くの集客が可能となるよう調整したが、新型コロナウイルス感染症の影響により従来の事業は中止とし、代替事業を実施した。</p> <p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の反省や課題を踏まえた事業の継続
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本施策:個性豊かな観光と交流を創出する</p> <p>指標:年間の観光入込客数</p> <p>KPI:2016年 1,483万人 ⇒ 目標 2022年 1,550万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	年度	年度	2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容			うつのみや花火大会事業		うつのみや花火大会事業
事業費			11,243,834	11,243,834	69,200,000
市町支出金 (ソフト事業分)			1,500,000	1,500,000	3,000,000
うち県交付金			750,000	750,000	
市町支出金 (ハード事業分)			0	0	
うち県交付金			0	0	
その他自主財源等	0	0	9,743,834	9,743,834	66,200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光交流課 観光企画G
担当者名	齋藤
電話	028-632-2437
連絡先 FAX	028-632-5420
E-mail	kanko@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	うつのみや花火大会事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

(単位:円)

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金収入	1,500,000	市補助金
寄付金収入	734,652	募金収入
雑入	9,009,182	協賛金収入等
計	11,243,834	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品	327,000			327,000	事務用消耗品
保険料	213,356			213,356	損害保険料
広告料	3,875,268			3,875,268	ラジオ, 新聞広告等
委託料	6,506,410	1,500,000	750,000	5,006,410	花火制作, HP制作等
使用料及び賃借料	321,800			321,800	会場使用料
計	11,243,834	1,500,000	750,000	9,743,834	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	宇都宮市
事業名	宮っこフェスタ2020
事業主体の名称	宮っこフェスタ実行委員会
代表者の名称	渡辺 道仁
事業主体の所在	宇都宮市旭1-1-5
事業主体の概要	<p>・団体の目的:宮っこフェスタの開催を通じて、家庭・地域・企業・行政等のネットワークを構築するとともに、宮っ子に同世代・異世代との交流の場を提供し、もって子育て・子育てに係る社会全体の機運を醸成する。</p> <p>・設立年月日:平成20年7月15日</p> <p>・構成員等:宇都宮市青少年育成市民会議、宇都宮市私立保育園協会、宇都宮市女性団体連絡協議会、宇都宮市女性団体連絡協議会、男女共同参画社会の実現を目指すうつのみや市民会議、宇都宮中心商店街みやヒルズ活性化委員会、宇都宮中心商店街活性化委員会、宇都宮商工会議所、株式会社 下野新聞社、株式会社 エフエム栃木、株式会社 とちぎテレビ、宇都宮市教育委員会、宇都宮市子ども部</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>・例年参加希望者が多く集まる職業体験「キッズみや」については、毎年希望者全員分の受け入れ店が確保できずに抽選となっており、受け入れ店の拡大が必要。</p> <p>・例年約35,000人が参加する大規模なイベントとなっており、参加者が安心して安全に参加できるイベントとすることが必要である。</p>
事業目的	<p>宮っこフェスタの実施目的である、「家庭・地域・企業・行政等が一体となって、子育て・子育てを社会全体で支え合う機運を醸成する」ことをイベントを通して満たすことのできる事業を実施する。</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、感染拡大防止対策を十分に講じての開催が必要となるため、HPやイベントで作成する新聞等を活用した代替案にて、安心・安全なイベントを開催する。</p>
事業概要	<p>【開催日時】令和2年10月～12月</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふれあいのある家庭づくり作品コンクール」の表彰式を実施(「家庭の日」運動と連携) ・青少年の活躍・発表の場の提供として実施していたステージイベントでの演技等を無観客にて実施(今年度は演技等を動画で撮影し、宮っこフェスタ専用HPやオリオンスクエアのスクリーン、バンパビジョン、ベルモール店内のスクリーン等を活用して広く放映) ・「家庭・地域・企業・行政等が一体となれる取組」として実施していた「キッズみや」の代替案として、宮っこフェスタの趣旨に賛同する企業を募集し、「宮っこフェスタ応援企業」として宮っこ新聞やHP等で紹介 ・「宮っこフェスタ応援企業」に、子育て世帯向けの優遇サービスを提供してもらい、子育て世帯を社会全体で支え合う機運を醸成
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】全ての子ども・若者を健やかに育成する。</p> <p>【KPI】キッズみや参加者数</p> <p>H29年 249人 ⇒ 300人(R4年)</p> <p>H30年 276人</p> <p>R1年 台風19号により中止</p> <p>R2年 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により代替手法(上記「宮っこフェスタ応援企業」の募集)にて実施</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	宮っこフェスタ2019	宮っこフェスタ2020			宮っこフェスタ2021
事業費	3,673,021	4,831,447		8,504,468	4,722,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,527,000	3,419,999		5,946,999	3,600,000
うち県交付金	1,263,500	1,710,000		2,973,500	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金	0	0		0	
その他自主財源等	1,146,021	1,411,448	0	2,557,469	1,122,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	子ども未来課健全育成グループ	
担当者名	高橋 聖矢	
連絡先	電話	028-632-2344
	FAX	028-638-8941
	E-mail	miyakko-festa@city.utsunomiya.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	宇都宮市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	宮っこフェスタ	
対象年度	令和2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市交付金	3,420,000	
協賛金	1,160,000	イベント広報誌「宮っこ新聞」企業広告協賛
負担金	0	構成団体・出展者等負担金, 職業体験参加者負担金等
雑収入	22	預金利子
繰越金	251,425	
計	4,831,447	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	県交付金		
委託料	3,295,355	2,141,247	1,070,623	1,154,108	撮影・動画編集・動画放映 広報紙製作・広告募集業務 広報紙発送業務 ホームページ運用保守業務
消耗品費	189,866	189,866	94,933		撮影参加者記念品及び副賞
広告費	1,070,230	1,070,230	535,115		新聞, ラジオ, テレビ広告
備品購入費	0				
使用料及び賃借料	0				
通信運搬費	12,216	12,216	6,108		郵送料
手数料	0				
食糧費	1,440	1,440	720		会議用お茶代等
傷害・損害賠償保険料	5,000	5,000	2,500		イベント保険料
報償費	0				ステージ司会者等
その他	257,400			257,400	次年度繰越金
計	4,831,507	3,419,999	1,709,999	1,411,508	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合